

## 現地調査項目（案）

「日本食文化ナビ」に照らした状況等を踏まえて選定した 10 地域において現地調査を実施。

## 1. 調査項目

以下の視点 0～5 の各チェック項目に基づき、グループインタビュー等により、取り組みが進んでいる項目や抱える課題等を把握。

## 【視点 0】地域の食文化の重要性への気づき

- ✓ きっかけは？
- ✓ あるもの探し？
- ✓ まずどのように活用？
- ✓ 地元のステークホルダーは？

## 【視点 1】「食」のプロセス全体へのまなざし

- ✓ 来歴・由来は？
- ✓ 地産地消している？
- ✓ 在来品種？
- ✓ 地域で加工？
- ✓ 見える化？

## 【視点 2】地域食文化のクリエイティブデザイン

- ✓ 現世代としての工夫をしてる？
- ✓ 自然の価値を引き出している？
- ✓ 祭や行事の価値を引き出している？

## 【視点 3】食文化全体のイーティングデザイン

- ✓ おもてなしを取り入れている？
- ✓ 作法・風習を取り入れている？
- ✓ 食器・工芸を取り入れている？
- ✓ 空間やしつらいの工夫は？

## 【視点 4】国内外のマーケットの中での価値

- ✓ 消費者への情報発信と評価を受ける工夫は？
- ✓ 海外への情報発信と評価を受ける工夫は？
- ✓ 日本全国に広げるために？
- ✓ 海外に広げるために？

## 【視点 5】食文化の共有と継承のための仕組みづくり

- ✓ 地域内で共有は？
- ✓ 家族や地域の絆を深める工夫は？
- ✓ 教育やお店との連携は？
- ✓ 教える側の人づくりは？
- ✓ 次世代に舌づくりは？
- ✓ 人づくりの一環ととらえている？
- ✓

## 2. 各地域の重点調査項目

現地調査対象地域において、①良く出来ている取組と想定される取り組みは、そのプロセスで重要な点、②不足していると思われると想定される取り組みは、その背景や課題解決に向けた気付き等の把握を中心に調査を行う。

各地域の重点調査項目は以下のとおり。

### ① 北海道（十勝品質の会）

- ・北海道の生産物を高付加価値化するポイント【視点2】
- ・「原産地呼称制度」の取組を進めてきたプロセス【視点0・1・2】
- ・食文化のストーリー展開をどのように行っているか【視点0・1・2】
- ・生産地と食文化の連携をどのように考えているか【視点3】

### ② 山形県置賜地方（おきたま食のモデル地域実行協議会）

- ・地域住民が食の重要性に気づくきっかけに必要なモノ、コト、ヒトは何か【視点0】
- ・地域固有素材に一工夫する際に注意している点は何か【視点2】
- ・ブランド食材を地域で手軽に入手できる手段があるか【視点4】
- ・普段の地域の暮らしの中で、ブランド食材はどのように利用されているか【視点5】
- ・“おきたま”ならではの伝統食を地域内で見直しているか【視点1・2】

### ③ 長野県長野市（若穂食のモデル地域実行協議会）

- ・地域の課題を食文化と連携させるために必要なことは何か【視点0・1】
- ・ジビエの食文化を地域に浸透させるために行っている工夫は何か。【視点2】
- ・ジビエの取組は地域の暮らしの中にどのように取り入れられているか【視点3】
- ・安定した供給量を確保できているか【視点4】
- ・マーケットや想定する売り先と受け手の乖離がないか【視点4】

### ④ 新潟県（雪国観光圏推進協議会）

- ・雪国の生活に根付いた文化を食と結びつけたきっかけは【視点0】
- ・地域の食を再構築するためのストーリーは地域で共有されているか【視点2】
- ・地域の食をブランディング化するまでの課題解決で苦労した点は何か【視点2】
- ・地域の観光と連携した食の見える化がうまくいった理由は【視点4】
- ・地域内外での販路を安定させるために工夫していることは何か【視点4】

### ⑤ 三重県鳥羽市（鳥羽HOSUプロジェクト協議会）

- ・地域食材と海女文化を結びつけようと思ったきっかけは【視点0】
- ・地域の人々の連携や協力体制を強化するために必要なことは何か【視点2】
- ・地域のコンテンツのストーリー性を高める工夫はしているか【視点3】
- ・売る仕組みについて民間事業者はどの程度かかわっているか【視点4】

### ⑥ 兵庫県淡路市（淡路地域食のモデル構築協議会）

- ・外部人材と地域人材が協力する秘訣は【視点0】
- ・玉ねぎを通じた人々の連携を進める際に苦労した点は【視点1・2】
- ・外部人材と地域人材が協力する秘訣は【視点0】
- ・「カレー」という国民食を地域の食として根付かせる工夫は【視点3】
- ・全国・海外展開のために今後外部との連携をどのように図っていくのか【視点4】

- ⑦ 島根県邑智郡邑南町（邑南町食のモデル地域実行協議会）
- ・ 医療と農業が連携して「食」を輝かせるために地域が行うことは何か【視点0・1】
  - ・ 事業を進めるために必要なことやもの、人の確保をどのように行っていくか【視点2・3】
  - ・ 販路開拓に向けた、加工品の売り先や販売体制など、今後どのように進めていくか【視点4】
- ⑧ 香川県小豆郡小豆島町（健康長寿の島づくり推進協議会）
- ・ 特産品であるオリーブを活用した長寿の島のイメージをどのように町民に浸透させたのか【視点0】
  - ・ 特産品の価値拡大のために、誰が何をどうやって高付加価値かしていくのか【視点2】
  - ・ 医学的検証と並行したオリーブを語れる人材の育成をどのように行っていくのか【視点3】
- ⑨ 熊本県菊池川（菊池川流域「米」モデル推進協議会）
- ・ 日本一おいしい米が出来上がった取組のポイントは何か【視点0】
  - ・ 次の世代に向けたおいしい米を伝えるために考えていることは【視点5】
  - ・ なぜおいしい米がとれるようになったのかを地域の人々は理解しているか【視点2】
  - ・ 生産者と旅館組合、NPO、青年部、旅行会社等が連携する機会はあるか【視点3・4】
- ⑩ 沖縄県（やんばる畑人プロジェクト）
- ・ 「スパイス」を活用した食のモデルに取り組もうと思った理由は【視点0・1】
  - ・ やんばる産スパイスをどのように差別化していくか【視点4】
  - ・ 地域の文化として根付かせるためにしなければならないことは【視点5】
  - ・ どうしたら地元産食材の利用率を上げることが出来るか【視点1・2】
  - ・ 地域で売る仕組みを今後どのように展開していくか【視点4】